

日本エムテクス株式会社製品 共通下地の作り方



1. 石膏ボード・石膏ラスボード・合板下地作りの留意点

左官下地に起きる不具合の大半は下地の動きが原因となっています。そのような不具合を防ぐためにも、石膏ボード等の板を強固に固定しておく必要があります。

■石膏ボード(木造下地)

JASS15 左官工事 3. 9、石膏ボード施工方法(吉野石膏)に準じる。

※注意

- ・吹抜け部のような壁面の場合には、特に重量がかかりますので支持木材、構造について配慮をしてください。
- ・ボード用ビス、釘は必ずステンレス製で、長さはボード厚の2.5倍～3.0倍程度のものを使用してください。ビスの間隔には特に気をつけ100mmを基準としてください。
- ・墨付けに朱墨を使わないで下さい。赤鉛筆も避けてください。
- ・石膏ボードは三八板、12.5mm厚のものを使用してください(天井・壁とも)・・・共通事項
- ・天井は横目地がつかないように千鳥に貼ってください。・・・共通事項

■石膏ボード(コンクリート下地)

GL工法(吉野石膏)に準じる。

石膏ボンドを用いて、コンクリート躯体に石膏ボードを張り付けボード固着後、右図のように処理する。

●石膏ボンドの塗り付けピッチ

部 位	ピ ッ チ
腰 壁 部	200～250mm
腰 壁 上 部	250～300mm
ボード周辺部	150～200mm

●石膏ボンドの使用量

仕 上 げ 厚	石膏ボンド使用量
20～25mm	約 3.0～4.5kg/m ²

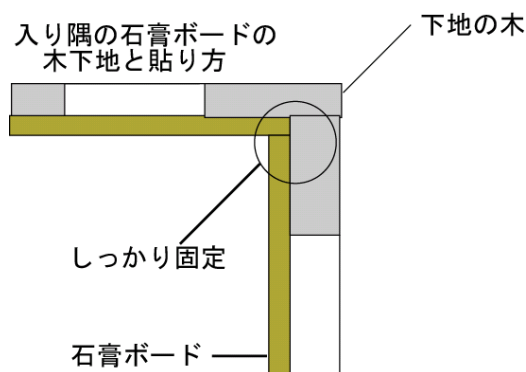
※注意

石膏ボードを十分固定するため、石膏ボンドは必ず規定量(上記)を使用し、所定のピッチを守ってください。

- ・目地部を十分固定するため、ボードの継ぎ目の真下には石膏ボンドがあるようにしてください。
- ・石膏ボードの目地の数ができるだけ少なくなるように三八板を使うなど貼り付け壁面に合ったサイズのものを使用し、横目地をできるだけ作らないようにしてください。

■特に注意する部分

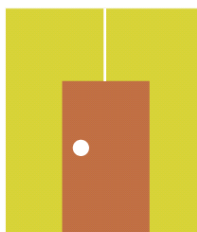
① 入り隅



② ドア・窓枠まわり

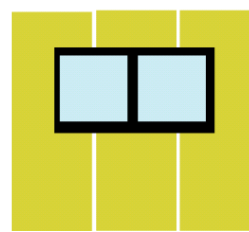
【ドア枠まわり】

ドア枠の縦の延長線上にボードのジョイントが来ないように貼る



【窓枠まわり】

ドア枠同様、窓枠の縦の延長線上にジョイントが来ないように貼る



■石膏ラスボード

・当社製品には不向きなので使わないで下さい。

■合板

合板は動きが石膏ボードに比べ大きいので、裏面の支持木材について、十分に配慮し、釘、ビスもできるだけ密に打ってください。

2. 塗り壁材の仕上げの前に確認するポイント

- 石膏ボード等の仕上面の固定は十分になされているか。(ビスの間隔: ボード周辺部100mm、受け木部150mm)
(階尺/境界部の塗り壁材表面は、一般壁面部に比べ、建物の構造的な動きによって、ひび割れ・ふくれ等の不具合が生じやすくなります。予め、ご了承ください。)
- ビス、釘の防サビ処理がなされているか。
- 朱墨・赤鉛筆は使用されていないか。→アクが生じるおそれがあります。使用されている場合はアク止め処理をしてください。
- 各種仕上面に破損、汚れがないか。
- 合板の厚みの確認(9mm厚以上の合板が使用されているか)
- 合板の種類の確認→アクがでるおそれのあるものについてはアク止め処理をしてください。

